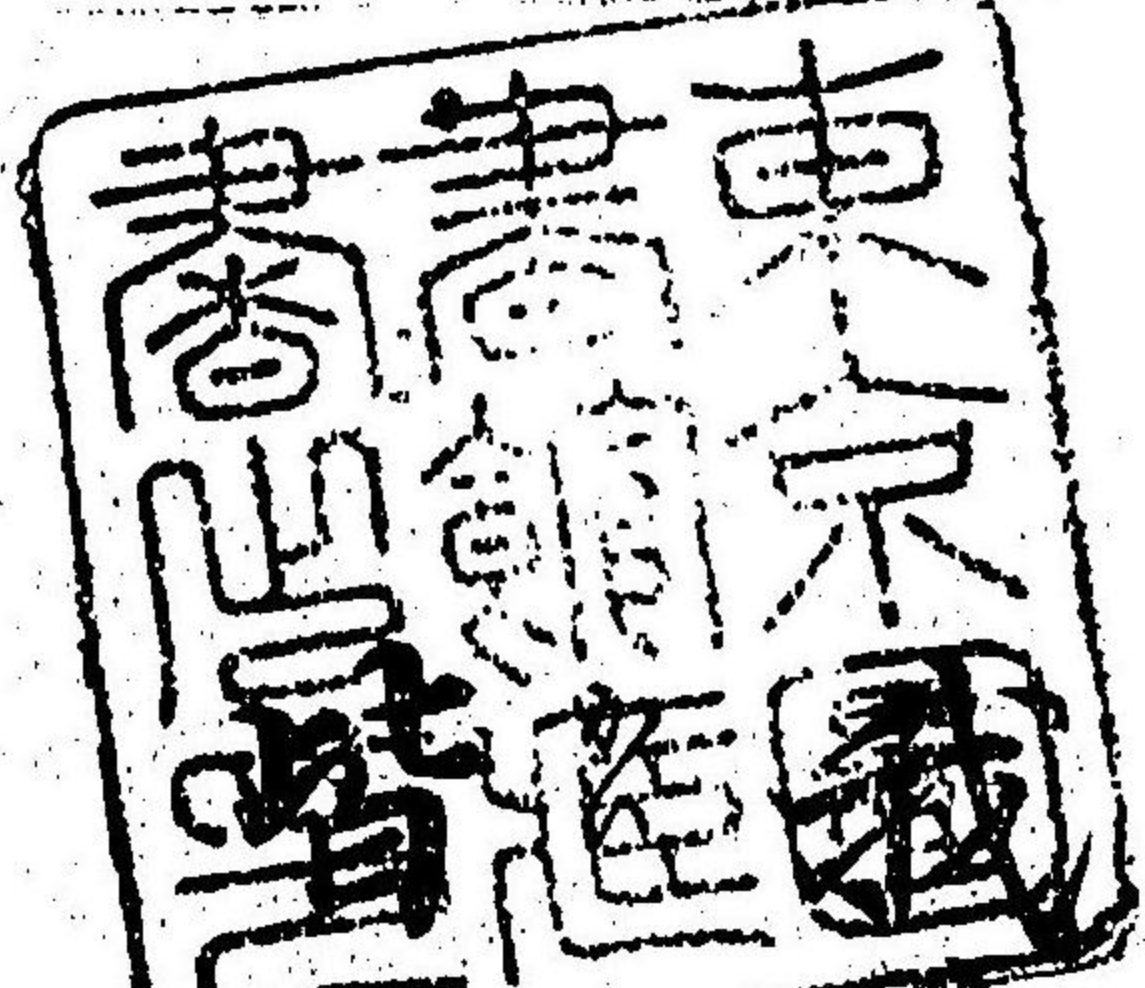


在家勤行法則

先懺悔文

一五



東京藏書
昔所造諸惡業
無始貪瞋癡

後身語意之所生

一切我今皆懺悔

次三歸 三反

弟子某甲 盡未來際

歸依佛

歸依法

歸依佛

歸依法

歸依僧

次三竟

三反

弟子某甲

盡未來際

歸依佛竟

歸依法竟

歸依僧竟

次十善戒

三反

弟子某甲

盡未來際

不殺生

不偷盜

不邪淫

不妄語

不綺語

不惡口

不兩舌

不慳貪

不瞋恚

不邪見

次發菩提心真言

三反

不瞋恚 不邪見

次發菩提心真言 三反

字不日不日不日不日不日不日

次三摩耶戒真言 三反

字不日不日不日不日不日不日

次光明真言 廿一反或百反千反

字不日不日不日不日不日不日

字不日不日不日不日不日不日

字不日不日不日不日不日不日

次高祖寶号 七反

南無大師遍照金剛

但一興教大師等信仰祖師の寶号ハ随意加唱スル也

次和讚 真言安心和讚 光明真言和讚

但一經陀羅尼及ハ大師和讚等随意加唱スル也

次和讚

真言安心和讚
光明真言和讚

但一經陀羅尼及以大師和讚等
随意加唱

次回向 一返

願以此功德 普及於一切

我等與衆生 皆共成佛道

在家勤行法則 畢

真言安心和讚

歸命頂禮大日尊

八葉四重乃圓壇は

一切如來の秘要にて

衆生心地の曼荼羅なり
十方淨土乃諸聖衆ハ

衆生心地の曼荼なり
十方浄土の諸聖衆ハ
大日普門の萬徳を
開きて示せし尊なりバ

密嚴國土の外なり
青龍阿闍梨の教誡よ
菩提を得る易けしと
真言秘密の逢たもの

得るべきなりと演ぬふ
二佛出世の中間に
果報つるもく生るれど
いづなる宿世の種因にて

解脱の時を得しらん
五濁惡世に此ごろも

解脫の時を得らん
五濁惡世に此ごろも
上根勝慧の者有りて
如説に修行する時

正像末のふてなく
一念一時一生に
三密加持の不思議にて
無盡の功德圓滿

即身成佛せらるなり
下根劣慧のともぐらをも
変定諦信いしあが
一度神呪と唱ふも

無明と除くと説ふ
一密おこしはあともなく

無明を除くと説くは
一密おしりはあともなく
増上縁の力にて
三密具足の時より

終に佛果を證すべし
過去に造り報に
盲聾喑啞の輩より
生れて法門さくちん

唱ふもともなく身は
諸佛の慈悲も満ぬべし
かふる衆生を救ふに
他方の方便勝れし

真言陀羅尼にまか
中にも光明真言ハ

真言陀羅尼にまゝ
中にも光明真言ハ
諸佛菩薩の總呪にて
一字に千理を含むや

無邊の功德備は
信じて唱ふればハ
口稱の功力を因として
往生浄土と一筋

安心決定致すべし
南無大師遍照尊
南無大師遍照尊
南無大師遍照尊

光明真言和讚

歸命頂禮大灌頂

光明真言和讚

歸命頂礼大灌頂
光明真言功德力
諸佛菩薩の光明を

二十三字に蔵めり
この一字を唱ふれば
三世の佛にさむく
香華燈明飯食は

供養の功德具は
引取山と唱ふる功力に
諸佛諸菩薩ありと
二世の求願を得せめて

衆生を救へぬなり
すすすすすすすすすす

衆生を救へよあり
すすすす唱めれば
唱め我等が其まに
大日如来が御身すて

説法よよ要なり
すすすす乃大印ハ
生佛不二と印可して
一切衆生をことごとく

菩提の道にぞ入れよ
すすすすの寶珠の利益にハ
此世をうけて未來まで
福壽意の如くはす

大安樂の身とぞなるふ
すすす唱めよ人の

大安樂の身とぞなるふ
可身唱ある物の人を
いかる衆も消滅し
華の臺に招くれそ

心の蓮を開くなり
心を唱ある光明なり
無明變じて明となり
數多の我等と攝取す

有縁の淨土に安きなり
身を唱あるが
萬の願望成就して
佛も我等も隔なき

神通自在の身を得て
亦字を唱ある功力にハ

神通自在の身を得て
六字を唱ふる功力にハ
衆障深きりれ
造り地獄も破らる

忽ち淨土と成りぬ
亡者の為に呪を誦せ
土砂をば加持し
極重惡のともをく

速得解脱と説き
真言醍醐の妙教は
餘教超過の御法に
無邊の功德具をり

説くともいふて盡す

南無大師遍照尊

速得解脱と説きまゝ
真言醍醐の妙教は
餘教超過の御法にて
無違の功德具を成り

説くともいふを盡すま
南無大師遍照尊
南無大師遍照尊
南無大師遍照尊

明治十三年十一月一日出版御届
同年同月五日出版

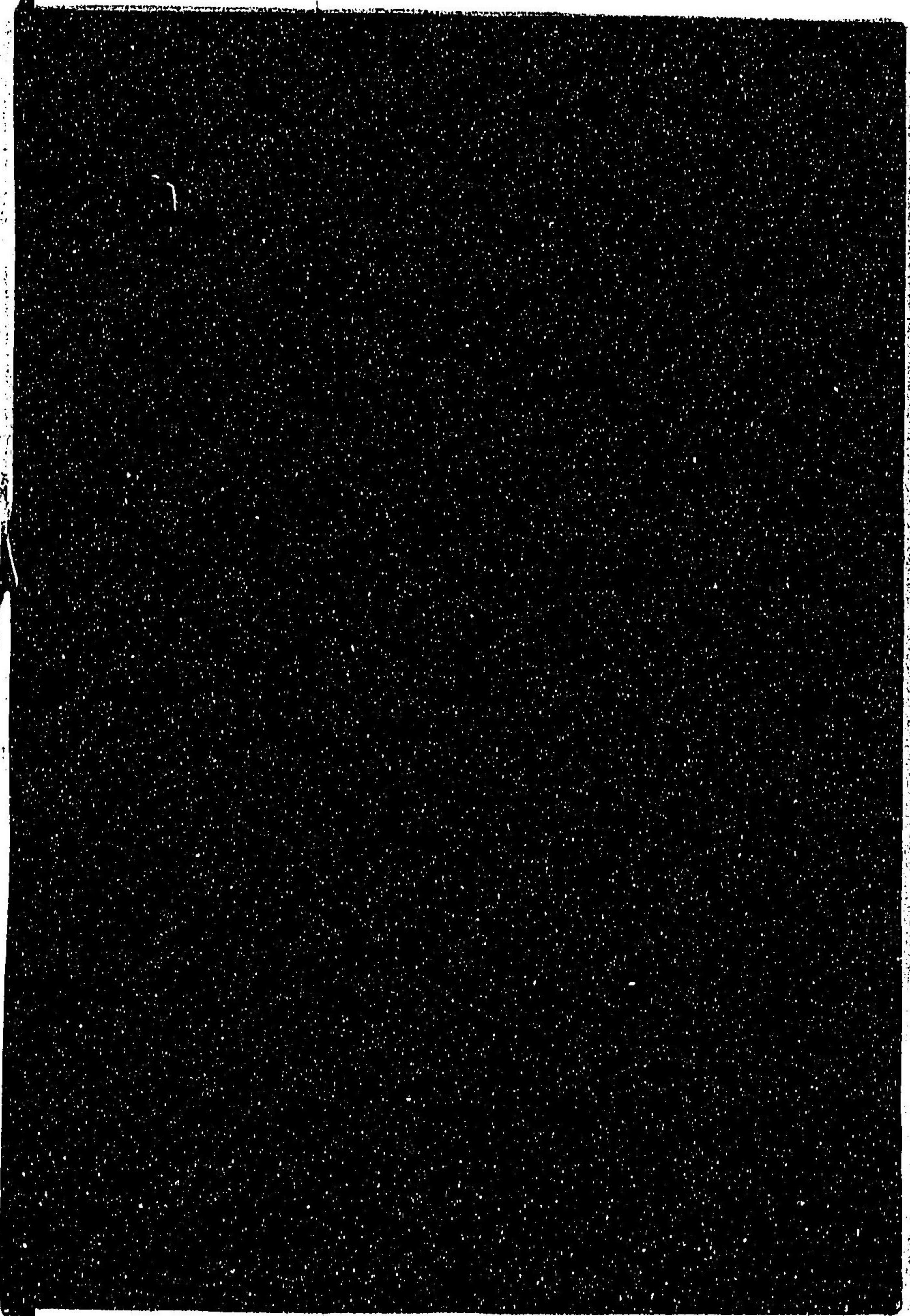
定價八錢

東京府華族
著述人 三條西 乘禪
神田區神田錦町一丁
目十九番地居住

島根縣平民
出版人 原 心 猛

淺草區國草南橋山町
十八番地寄留





特55
489

016018-000-6

特55-489

在家勤行法則

三条西乘禪 / 著

M13.11

ABC-1852

